

(4) 令和3年度全国環境情報等整備委託業務で作成された成果品（環境省発注）

各森林管理局から収集した原典資料を用いて作成された山地災害危険地区の GIS データである。

データの仕様は表 4-2 のとおりである。

表 4-2 令和3年度全国環境情報等整備委託業務で作成された
成果品（山地災害危険地区GISデータ）の仕様

項目	内容
ファイル形式	シェープファイル一式（shp・dbf・shx・prj）
座標系	世界測地系 2011（JGD2011）、緯度経度
種別 1	国有林 民有林直轄治山事業の施行区域
種別 2	地すべり危険地区 山腹崩壊危険地区 崩壊土砂流出危険地区 崩壊土砂流出危険地区（集水域）
原典資料	各森林管理局から収集した GIS データおよび山地災害危険地区の情報が記載された資料
属性	森林管理局名、森林管理署名、種別、箇所番号、危険度、地区名

(5) 国有林数値基本図データ

林野庁が森林基本図を基に作成した数値基本図データであり、国有林 GIS 等に搭載するほか、貸与等のために一般的なシェープファイル形式で整備されている。

地形のレイヤのほかに、基準点、境界点、林班区画、小班区画、森林計画区界、管轄区界等のレイヤがある。

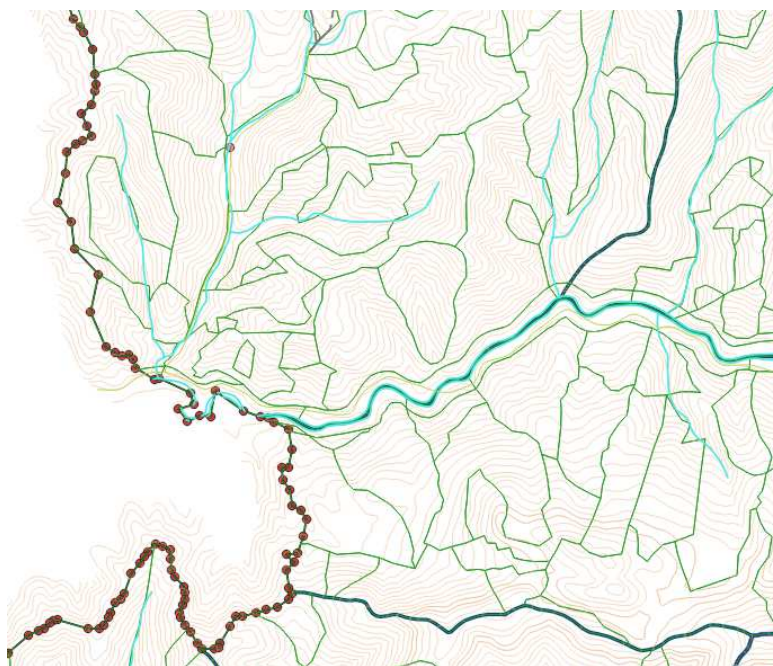


図 4-4 国有林数値基本図データの例

(6) 地理院タイル

位置特定のために使用する。地理院タイルのうち、標準地図、単色地図、写真等を使い、他の資料の位置特定や成果データの位置確認等に利用する。

地理院タイルは、国土地理院が配信するタイル状の地図データであり、地形図、写真、標高、地形分類、災害情報等の項目がある。ウェブマップタイルサービス（Web Map Tile Service: WMTS）と呼ばれる、ウェブ上でデジタル地図を提供するために定められた国際標準の一つおよびXYZタイル方式で配信されているため、これに対するインターフェース（API）が用意されている GIS であれば直接 GIS 上に表示することができる。

定期的に更新がなされており、常に最新の地図を閲覧できることから、背景地図として活用する。

なお、地理院タイルの測地系は、日本国内の地図については、世界測地系（JGD2011）である。



図 4-5 地理院タイルをGISソフトウェア上に表示した例